

# みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

国立民族学博物館の標本資料：  
集計からみる材質分析と異釈の種類：  
合成素材を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2009-04-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宇野, 文男 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15021/00001965">https://doi.org/10.15021/00001965</a>

## 国立民族学博物館の標本資料 集計からみる材質分析と異状の種類：合成素材を中心に

宇野 文男  
福井大学教育地域科学部

### Synthetic Materials and Their Degradation in the Collections of the National Museum of Ethnology

Fumio Uno

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 はじめに            | 3.4 材質別にみた異状の種類   |
| 2 資料点検の経緯とその概要    | 3.4.1 集計方法        |
| 3 資料の材質分析と異状の種類   | 3.4.2 集計結果        |
| 3.1 収集方法別の材質区分    | 4 合成素材を中心にみた異状の種類 |
| 3.1.1 集計方法        | 4.1 人工樹脂の場合       |
| 3.1.2 集計結果        | 4.1.1 集計結果        |
| 3.2 地域別の材質区分      | 4.1.2 類型          |
| 3.2.1 集計方法        | 4.2 ゴムの場合         |
| 3.2.2 集計結果        | 4.2.1 集計結果        |
| 3.3 材質別にみた異状の発生件数 | 4.2.2 類型          |
| 3.3.1 集計方法        | 5 おわりに            |
| 3.3.2 集計結果        |                   |

## 1 はじめに

国立民族学博物館(以下、民博と略す)では、世界各地の諸民族で用いられている民族学資料である標本資料の整理や管理に、逸早くコンピュータをとりいれ、毎年受け入れられる大量の資料や情報に対処してきた。平成12(2000)年3月現在の収蔵点数は、229,361点(内海外資料144,005点)であるが、それらの資料に関する材質や損傷状態を記録するためのシステム化をはかり、資料の保存管理にも役立っている。このような数多くの民族学資料の材質や損傷状態を調査、記録・情報化することは、一般的に博物館ではほとんど実施されていないことであった。

今回報告しようとしているのは、過去20年あまりにわたって蓄積された民博の標本資料に関する材質の膨大なデータを、この共同研究の機会にあらためて集計しなおし、その分析を試みようとするものである。とりわけそのなかでも、共同研究のテーマである合成素材に焦点をあて、民族学資料との関わりはどのようにになっているのか探ってみることにする。

従来このような民族学資料の材質結果は、ほとんど公表されてこなかったもので、今後の研究の手助けになればと、ここに集計結果の数値をあまり加工せずにとりまとめて報告する。

## 2 資料点検の経緯とその概要

民博は、民族学の情報センターの機能をもつ大学共同利用機関として、創設3年後の昭和52(1977)年に開館、展示場を一般公開した。いまでこそコンピュータはさまざまな分野で利用されているが、当時博物館の世界では、まだコンピュータはほとんど用いられていなかった。初代館長となった梅棹忠夫は、今にコンピュータ時代になるとの先見から、民博の創設当初からさまざまな分野でコンピュータの導入にふみきり、資料の整理や管理にもそれを前提としたシステム化をはかった。

昭和53(1978)年1月から、標本資料に関する情報を記載した標本管理ファイルのデータ入力を手はじめに、情報検索のための基礎作業をスタートさせた。そして昭和55(1980)年4月からコンピュータを利用した「標本管理システム」の開発に着手し、翌年にはその一部が、翌々年の昭和57(1982)年には全面的に稼働しはじめた。これによりモノに関する管理情報、学術研究情報のほか、資料の履歴や保存情報の蓄積により、在庫管理や保存管理も効率よく行えるようになったのである。

一方、このような資料整理のコンピュータ化とともに、資料の保存にも重点を置き、よりきめの細かい保存管理をするため、研究部の森田恒之の助言をもとに収蔵している資料の点検を昭和56(1981)年3月から開始した。世界の各地から収集される標本資料は、複合素材、つまりさまざまな材質で構成されているものが多い。これらの資料の材質や損傷状態をあらかじめ一定のコードを定めておき、カードにそのコードを用いてチェックし、その結果はコンピュータを利用して処理しようというものである。B5サイズのカードは「点検情報基本カード」(写真1)とよばれ、同年9月には、そのカードの記入法、材質コードの内容、点検結果の記載の仕方などを定め、翌昭和57(1982)年12月、それをまとめて作業の手引書「資料点検について」(情報管理施設資料室標本資料係 1984: 667-682)を作成した。

具体的な作業は、まず「材質」が単体か複合体かに区分し、ついで61にわたった材質項目をチェックし、カードに記入する。そして「点検結果」では資料のコンディションについて、目視により亀裂、破損、欠損、劣化などの22の異状項目にあてはまるか、あるいは「異状なし」かのチェックを行う。さらに異状の部位をわかりやすく図示するためのスケッチ欄があり、そのほか補修・くん蒸・クリーニングの要不要、利用規制、次回点検月などの項目から構成されている。そのほとんどがコード化されており、その記載したコードをコンピュータに入力し、集計結果にもとづいて全体の資料の保存管理を行うわけである。

昭和57(1982)年夏頃には収蔵標本資料点数が11万点に達していたが、その頃に点検された資料はやっと約9,000点で、そのうち錆に対する防錆処置や、部材間のゆるみなど補修の

標本番号 213118	標本名 乗器(ハート)-カリンバ	取置場所 -	点検責任者 標本資料係	点検日 1998. 9. -1
材質 210	複合体 20	点検結果 00 異常なし 01 亀裂 10 欠損 11 変形 12 欠損 13 劣化 14 剝離・接着不良 15 わん曲・変形 20 腐食・腐敗 30 カビ 40 虫害 50 クモの巣類 60 変色退色 70 貼紙・テープ 80 使用痕 90 部材割ゆるみ 99 未切れゆるみ その他	内容 ウラ 側面に NME 裏面に MHN 4033 少し NURU X NTEMA ILINDI A	
材質 111 117 40 46	10 単体 11 アルミ 12 鋼 13 ガラス 14 銅 15 金網針金 16 糸ロー 17 漆 18 漆 19 漆 20 漆 21 ガラス 22 漆 23 漆 24 漆 25 漆 26 漆 27 漆 28 漆 29 漆 30 漆 31 漆 32 漆 33 漆 34 漆 35 漆 36 漆 37 漆 38 漆 39 漆 40 漆 41 漆 42 漆 43 漆 44 漆 45 漆 46 漆 47 漆 48 漆 49 漆 50 漆 51 漆 52 漆 53 漆 54 漆 55 漆 56 漆 57 漆 58 漆 59 漆 60 漆 61 漆 62 漆 63 漆 64 漆 65 漆 66 漆 67 漆 68 漆 69 漆 70 漆 71 漆 72 漆 73 漆 74 漆 75 漆 76 漆 77 漆 78 漆 79 漆 80 漆 81 漆 82 漆 83 漆 84 漆 85 漆 86 漆 87 漆 88 漆 89 漆 90 漆 91 漆 92 漆 93 漆 94 漆 95 漆 96 漆 97 漆 98 漆 99 漆 その他	前回点検月 月 月 年	点検月 月 月 年	点検回数 *次回点検 年 月
取蔵部分 00 不明 10 一般 20 大形 30 鏡銅 40 漆器 50 衣類	補修要 0 有 1 有 2 有 3 有 4 有 5 有 6 有 7 有 8 有 9 有 10 有 11 有 12 有 13 有 14 有 15 有 16 有 17 有 18 有 19 有 20 有 21 有 22 有 23 有 24 有 25 有 26 有 27 有 28 有 29 有 30 有 31 有 32 有 33 有 34 有 35 有 36 有 37 有 38 有 39 有 40 有 41 有 42 有 43 有 44 有 45 有 46 有 47 有 48 有 49 有 50 有 51 有 52 有 53 有 54 有 55 有 56 有 57 有 58 有 59 有 60 有 61 有 62 有 63 有 64 有 65 有 66 有 67 有 68 有 69 有 70 有 71 有 72 有 73 有 74 有 75 有 76 有 77 有 78 有 79 有 80 有 81 有 82 有 83 有 84 有 85 有 86 有 87 有 88 有 89 有 90 有 91 有 92 有 93 有 94 有 95 有 96 有 97 有 98 有 99 有 その他	利用規制 00 規制なし 10 国外貸出不適 20 出庫不適 30 閲覧不適	点検情報基本カード	

写真1 点検情報基本カード

必要とされた資料は約240点であった。年間1万点の資料増加に対して、この種の点検作業を毎年つづけてゆくには現有の職員のみでは人手不足で困難なため、同年12月からその一部を外部に業務委託し、処理しはじめた(写真2, 3)。

それ以後毎年、おおよそ1万点あまりの資料を過去の受け入れ資料に遡及して順次点検することになり、カードに記載した情報はコンピュータに入力された。年度末には、当該年度の調査結果としてとりまとめた業務報告「標本資料点検報告書」が作成された。その報告書には、おおむね次の内容が記載された。1 点検実施範囲および内容, 2 標本資料の点検方法, 3 点検結果と分析, 4 展示計画資料の点検, 5 まとめ。そのうち3については、材質と形態、異常の発生状況、おもな異状、補修・くん蒸・クリーニングの必要な資料などの項目に細分化された。そして年度当初には、この結果の緊急度などを参考に、補修すべき資料や、簡易な保存処理など優先順位をつけて処置されている。

このように、毎年点検作業された標本資料に関する点検集計結果は、業務報告書という形式でとりまとめられている。それ以外には、森田恒之によって点検作業開始から5年分程度を統計処理したレポート(Morita 1988: 45-67)があるので参照いただきたい。過去20年あまりに及ぶ全体を通算しての結果についてはどうなのか。以下、具体的にその詳細をみていくことにする。

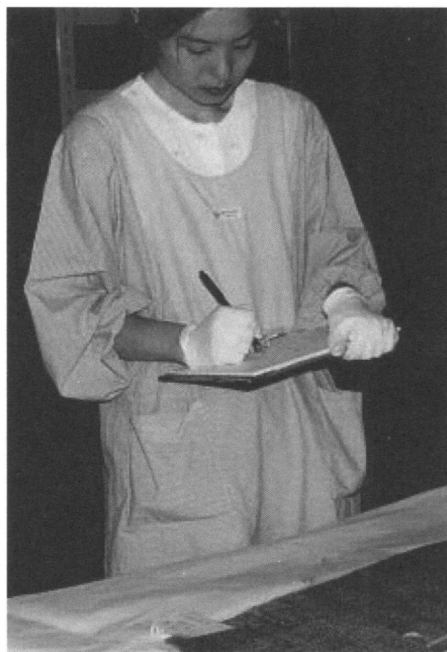


写真2 点検したデータを点検情報基本カードに記載



写真3 収蔵庫内での点検作業

### 3 資料の材質分析と異状の種類

まず今回膨大な点検データを集計するにあたっての、基礎データになったものを確認しておきたい。民博に受け入れられた資料は、大きく海外収集、購入・寄贈、管理換、寄託の4つから構成されている。それらの資料をもとに、民博創設時に遡及してチェックしてきた「点検情報基本カード」の情報の有無をコンピュータ処理し、そして点検された資料の必要とするデータを抽出した。資料の点検作業は一資料について一回限りではないので、ひとつの資料でも複数枚あるカードデータは、最近に点検されたデータを採用した。

平成10(1998)年10月段階のその点検データ標本総数は153,751点で、材質別のデータ総数386,627件となった(表1)。その時点の収蔵点数は226,279点で、点検されていない資料としては約72,000点あまり少ない。それは、点検作業の対象からはずされた衣類関係、大型資料などのほか、かなりの点数を占める釣り針、さらに別途点検している常設展示場の展示資料などが収蔵点数から除外されているからである。

表1 点検データ点数

区分	収蔵点数	点検資料点数	材質の合計件数	
海外収集資料	65,516	47,340	121,489	
購入・寄贈資料	132,715	85,459	202,489	
管理換資料	21,066	15,148	45,138	
寄託資料	東大資料	6,288	5,332	15,665
	万博資料	642	437	1,706
	明大資料	52	35	140
合計	226,279	153,751	386,627	

抽出された153,751点の点検結果データは、厳密に言えば民博の収蔵資料の状況を十分に反映できるデータではないが、ひとつの目安として、以下の要領で集計を試みた。

#### 3.1 収集方法別の材質区分

##### 3.1.1 集計方法

ここで平成10(1998)年10月時点の収蔵点数、226,279点を収集方法別にその内容をみとめることにする。

まず海外収集資料は民博が創設された昭和49(1974)年以来、民博の研究者の手によって毎年海外各地で直接収集されてきた65,516点資料をさしている。

購入及び寄贈資料は、民博がコレクター、業者、個人、団体から受け入れた132,715点で、その収集年代はさまざまである。おおまかには20世紀に収集されたものと推定される。

管理換資料は、国の組織間での資料移管で、旧文部省史料館（現在の国文学研究資料館史料館）旧蔵資料（以下、文部省史料館資料と略す）がこれにあたる。大正10（1921）年に澁澤敬三が創設したアチック・ミュージアムのコレクションを核とし、それを引き継いだ日本民族学会附属民族学博物館時代の収集品を含む旧文部省史料館の資料21,066点。それらの資料は、おもには大正から昭和30年代までに収集された。

寄託資料は、公的な機関から一定の条件のもとに資料を受託されたものである。その1は、明治・大正時代を中心に収集された旧東京大学理学部人類学教室の資料（以下、東大資料と略す）6,288点。2は、昭和43（1968）年から44年にかけて、日本万国博覧会世界民族資料調査収集団が世界各地で収集し、旧日本万国博覧会協会の所蔵していた資料（以下、万博資料と略す）642点。さらに明治大学の所蔵であったイヌイット関係資料52点となっている。

これらを点数の少ない明治大学分を除いて、収集時の時代別におおまかにならばなおすと、① 東大資料、② 文部省史料館資料、③ 万博資料、④ 購入・寄贈資料、⑤ 海外収集資料となる。このような資料の時代順で、材質になんらかの傾向がみられるのか。材質項目61ごとにデータを抽出した。

### 3.1.2 集計結果

点検資料点数153,751件を個々に構成する材質ごとにデータを落とし込んだ合計、延べ件数は386,627件となる（表2）。なお、本文中、材質のあとの（ ）内の数字は材質コード番号である。

まず全体からみてみると、材質データ総数386,627件を点検資料点数153,751件で割ると標本資料1点あたり約2.5の材質から構成されていることになる。最も多く用いられている材質は、木(40)の49,635件で総数386,627件の12.8%となる。以下、多い順に、鉄(11)31,224件、塗(60)27,731件、縄・網・組物・その他の紐類(52)27,127件、竹・籐・葦(38)22,543件となっている。

つぎに①から⑤の区分における資料に対する各材質の最も多い順から第5位までをあげると、以下のようになる。

- ① 東大資料 点検資料点数は5,332点で、材質の合計件数は15,665件。そのうち最も多い材質から順にならべると、木(40)が2,507件、竹・籐・葦(38)の1,367件、ついで縄・網・組物・その他の紐類(52)1,308件、塗(60)1,204件、撚糸(51)1,173件となっている。
- ② 文部省史料館資料 点検資料点数は15,148点で、材質の合計件数は45,138件。先と同様にそのうち最も多い材質から順にならべると、木(40)が5,665件、藁(31)3,374件、竹・籐・葦(38)3,319件、縄・網・組物・その他の紐類(52)3,083件、鉄(11)2,791件の順となっている。
- ③ 万博資料 点検資料点数は437点で、材質の合計件数は1,706件。そのうち最も多い材

表2 収集方法別の材質区分

	東大資料	文部省資料	万博資料	購入・寄贈資料	海外収集資料	その他	合計	割合
10 金属	111	392	65	3,483	2,294	1	6,346	1.641
11 鉄	611	2,791	141	18,399	9,279	3	31,224	8.076
12 銅	234	708	46	7,205	5,718	0	13,911	3.598
13 アルミ	5	38	21	603	529	0	1,196	0.309
16 プレート	0	0	0	19	6	0	25	0.006
17 金網・針金	95	881	44	3,824	2,166	2	7,012	1.814
18 ホーロー	5	2	0	102	84	0	193	0.050
19 機械	0	2	0	135	23	0	160	0.041
20 石	258	541	3	3,982	723	5	5,512	1.426
21 ガラス	98	203	9	3,583	1,559	1	5,453	1.410
22 土器	137	1,037	2	5,418	3,055	0	9,649	2.496
23 施釉器	40	252	1	2,244	2,232	0	4,769	1.233
24 粘土	49	455	1	606	476	0	1,587	0.410
29 宝石類	136	158	13	4,372	1,969	2	6,650	1.720
30 植物一般	526	1,866	57	3,762	3,868	3	10,082	2.608
31 藁	401	3,374	10	1,417	740	0	5,942	1.537
32 椰子葉	140	86	4	274	498	0	1,002	0.259
33 ゴザ	147	2,614	10	1,060	573	0	4,404	1.139
34 草・葉原形	19	110	5	195	74	0	403	0.104
35 木の実	65	144	4	647	653	0	1,513	0.391
36 ヤシ殻	89	53	2	225	177	0	546	0.141
37 ひょうたん	23	55	16	418	1,004	0	1,516	0.392
38 竹・藤・葦	1,367	3,319	120	10,462	7,270	5	22,543	5.831
39 籠類	258	1,235	70	2,527	2,940	0	7,030	1.818
40 木	2,507	5,665	255	24,667	16,518	23	49,635	12.838
41 樹皮	379	859	22	1,187	754	0	3,201	0.828
42 樹皮テープ	436	366	12	665	698	4	2,181	0.564
46 極薄木片	83	362	1	395	35	0	876	0.227
47 箱類	19	248	0	778	372	0	1,417	0.367
48 合板	1	13	0	683	149	0	846	0.219
49 樽・桶・曲物	20	182	0	590	319	0	1,111	0.287
50 繊維糸	388	554	49	3,220	1,173	2	5,386	1.393
51 撚糸	1,173	2,051	90	9,815	6,442	15	19,586	5.066
52 縄・網・組物・その他の紐類	1,308	3,083	137	13,884	8,702	13	27,127	7.016
53 レース	3	6	0	139	120	0	268	0.069
54 布	576	1,569	29	5,438	4,440	5	12,057	3.119
55 不織布	24	27	8	502	479	0	1,040	0.269
56 編物	6	43	5	198	266	0	518	0.134
57 刺繡	107	87	8	790	762	1	1,755	0.454
58 衣ゴム	0	4	1	99	110	0	214	0.055
59 服飾小物	21	38	2	827	664	0	1,552	0.401
60 塗	1,204	2,709	168	14,664	8,982	4	27,731	7.173
61 漆塗	53	251	13	1,832	268	0	2,417	0.625
62 粉状塗	138	766	21	3,431	1,607	0	5,963	1.542
63 箔(金属箔)	7	27	0	284	197	0	515	0.133
65 紙	422	2,190	31	13,635	3,505	0	19,783	5.117
66 油・渋紙	8	34	0	6,097	69	2	6,210	1.606
69 張り子	15	398	14	1,064	312	0	1,803	0.466
70 動物一般	19	41	0	314	225	1	600	0.155
71 毛皮	50	68	29	540	562	11	1,260	0.326
72 鞣皮	286	405	76	3,229	3,586	16	7,598	1.965
73 羽・毛	170	250	16	2,265	1,175	4	3,880	1.004
75 つめ・甲・つの	74	121	5	1,261	462	1	1,924	0.498
76 骨・牙・歯	226	153	6	1,636	1,053	6	3,080	0.797
77 貝	330	203	6	2,284	914	1	3,738	0.967
78 象がん・蠟燭	49	48	0	509	292	0	898	0.232
80 人工樹脂	40	149	13	4,442	2,859	0	7,503	1.941
81 生樹脂・接着剤	583	423	23	2,880	2,945	3	6,857	1.774
83 ゴム	21	34	3	665	424	0	1,147	0.297
84 油脂・蠟	2	36	0	131	302	0	471	0.122
89 加工食品	4	16	0	110	50	0	180	0.047
91 不明	77	1,266	19	1,728	1,481	5	4,576	1.184
93 その他	22	77	0	649	306	1	1,055	0.273
点検件数	15,665	45,138	1,706	202,489	121,489	140	386,627	
点検資料点数	5,332	15,148	437	85,459	47,340	35	153,751	





表3 地域別の材質区分

	オセアニア	アメリカ	ヨーロッパ	アフリカ	西アジア	南アジア	東南アジア	朝鮮半島	中国地域	中央・北アジア	日本	地域不明	合計
10 金属	40	962	540	710	277	687	709	174	164	210	1,655	218	6,346
11 鉄	282	4,195	2,321	2,353	565	2,285	2,667	1,214	623	805	12,460	1,454	31,224
12 銅	94	847	1,584	2,202	498	2,739	1,851	724	223	517	2,039	593	13,911
13 アルミ	14	83	102	254	19	191	149	129	26	25	167	37	1,196
16 プレート	0	3	1	1	1	6	0	0	0	3	10	0	25
17 金網・針金	119	1,823	317	479	115	431	538	256	229	91	2,282	332	7,012
18 ホーロー	2	0	49	47	1	0	17	7	2	8	58	2	193
19 機械	0	3	22	2	1	13	0	3	2	1	112	1	160
20 石	843	2,057	34	216	23	597	138	570	36	45	382	571	5,512
21 ガラス	95	749	346	801	97	324	787	549	47	70	795	793	5,453
22 土器	61	2,563	144	385	205	421	726	423	77	64	4,030	550	9,649
23 施肥器	39	1,087	532	412	47	31	318	148	99	89	1,675	292	4,769
24 粘土	74	154	78	69	107	450	35	45	32	22	372	149	1,587
29 玉石類	323	944	123	1,522	148	572	1,012	726	32	114	314	820	6,650
30 植物一般	2,198	2,076	87	1,270	37	279	1,064	343	112	75	1,933	608	10,082
31 藁	98	488	57	39	7	64	33	227	28	4	4,036	861	5,942
32 椰子葉	538	89	0	24	4	8	221	34	8	0	42	34	1,002
33 ござ	411	183	8	158	27	52	287	138	18	3	2,420	699	4,404
34 草・葉原形	43	29	20	15	1	15	15	8	5	3	231	18	403
35 木の葉	307	390	12	221	6	90	184	113	13	7	129	41	1,513
36 ヤシ殻	259	43	0	18	3	15	133	52	0	0	1	22	546
37 ひょうたん	178	539	10	505	6	19	125	75	19	6	20	14	1,516
38 竹・藤・葦	3,406	3,025	139	681	64	1,164	4,534	1,670	616	180	5,711	1,353	22,543
39 籐類	545	1,869	73	484	20	303	1,352	572	144	58	1,135	475	7,030
40 木	7,143	6,384	2,178	4,907	691	2,734	4,989	2,344	721	1,301	13,161	3,082	49,635
41 樹皮	1,004	414	32	88	1	32	233	169	32	85	802	309	3,201
42 樹皮テープ	937	210	13	51	2	31	87	90	8	26	492	234	2,181
46 極薄木片	36	26	4	1	0	0	60	13	1	24	557	154	876
47 箱類	6	121	72	31	35	58	47	43	49	96	768	91	1,417
48 合板	30	596	26	33	1	22	28	2	7	20	42	39	846
49 樽・桶・曲物	28	112	67	32	1	18	63	42	35	73	579	61	1,111
50 繊維糸	353	955	142	355	55	245	199	160	122	110	2,319	371	5,386
51 然糸	1,148	4,450	585	1,409	357	1,129	2,449	1,127	567	770	4,454	1,141	19,586
52 網・網・組物・ その他の紐類	3,179	3,807	699	2,485	321	1,411	2,842	1,372	431	612	8,644	1,324	27,127
53 レース	0	54	57	11	1	15	19	6	1	18	83	3	268
54 布	427	1,922	718	722	231	1,224	965	791	483	774	2,957	843	12,057
55 不織布	201	410	70	81	18	29	25	20	16	74	57	39	1,040
56 編物	118	136	28	53	17	8	49	12	5	28	38	26	518
57 刺繍	6	328	65	191	50	135	98	131	138	197	304	112	1,755
58 衣コム	1	41	10	14	1	37	17	24	15	7	42	5	214
59 服飾小物	18	304	203	123	20	113	282	75	69	59	212	74	1,552
60 塗	2,263	4,563	1,156	1,792	282	2,163	3,354	851	585	526	8,706	1,490	27,731
61 漆塗	2	3	5	3	4	15	239	131	38	24	1,790	163	2,417
62 粉状塗	1,761	556	41	655	18	270	457	112	53	98	1,597	345	5,963
63 箔(金屬箔)	2	52	12	2	1	113	120	5	30	2	137	39	515
65 紙	97	5,872	430	265	168	3,226	540	460	230	152	7,306	1,037	19,783
66 油・渋紙	1	11	3	0	0	1	27	69	4	1	6,078	15	6,210
69 張り子	1	134	5	3	0	294	27	64	63	12	1,106	94	1,803
70 動物一般	71	129	78	80	11	8	10	14	5	12	38	144	600
71 毛皮	27	348	27	495	15	13	84	26	12	87	52	74	1,260
72 鞣皮	105	1,664	616	1,906	262	359	1,268	188	195	401	295	339	7,598
73 羽・毛	449	1,521	36	274	29	202	286	122	70	75	656	160	3,880
75 つゆ・甲・つの	361	265	73	206	9	38	594	44	4	34	241	55	1,924
76 骨・牙・歯	943	613	198	239	69	118	316	116	40	79	201	148	3,080
77 貝	1,690	336	17	448	34	77	147	140	14	16	666	133	3,738
78 象がん・蠟燭	162	109	24	81	92	60	87	57	19	39	147	21	898
80 人工樹脂	139	1,360	268	732	174	508	1,142	169	212	143	2,370	286	7,503
81 生樹脂・接着剤	1,815	1,383	167	526	112	535	752	168	103	92	769	435	6,857
83 コム	21	254	53	78	9	28	271	20	13	14	368	18	1,147
84 油脂・蠟	0	204	48	5	0	16	88	4	5	5	72	24	471
89 加工食品	4	59	13	2	1	4	54	9	13	4	15	2	180
91 不明	205	726	136	328	46	398	398	216	201	135	1,444	343	4,576
93 その他	36	166	142	35	20	81	32	16	2	14	460	51	1,055
点検件数	34,759	64,799	15,116	31,610	5,437	26,524	39,640	17,622	7,166	8,639	112,054	23,261	386,627
点検資料点数	13,965	25,671	6,536	12,090	2,333	11,931	13,464	7,064	2,095	2,916	46,939	8,747	153,751



質から順にならべると、木(40)が255件、塗(60)168件、鉄(11)141件、縄・網・組物・その他の紐類(52)137件、竹・籐・葦(38)120件となっている。資料の多くは世界各地の仮面や神像を中心に農具、容器類、装身具などであるが、資料1点あたりの構成材質数の平均は3.9と最も多くなっている。

- ④ 購入・寄贈資料 点検資料点数は85,459点で、材質の合計件数は202,489件。そのうち最も多い材質から順にならべると、木(40)が24,667件、鉄(11)18,399件、塗(60)14,664件、縄・網・組物・その他の紐類(52)13,884件、紙(65)13,635件となっている。
- ⑤ 海外収集資料 点検資料点数は47,340点で、材質の合計件数は121,489件。そのうち最も多い材質から順にならべると、木(40)が16,518件、鉄(11)9,279件、塗(60)8,982件、縄・網・組物・その他の紐類(52)8,702件、竹・籐・葦(38)7,270件となっている。

また5つの区分を個々にみても、木(40)はいずれもトップで、縄・網・組物・その他の紐類(52)が5つともランクインしており、少し特徴があるとすれば、①では鉄(11)が5位までに入らず、竹・籐・葦(38)が2位、②では多くの資料のなかに草履、藁靴、藁人形などの藁製品が多数含まれているにもかかわらず藁(31)が2位、塗(60)は5位までに入っていない。④では数千点からなる伊勢型紙のコレクションを含んでいるため、5番目に紙(65)が入っている。

## 3.2 地域別の材質区分

### 3.2.1 集計方法

次に点検データを基本的に民博の展示場の地域区分にあてはめ、材質項目別に集計した。したがって地域の点数は、現在の展示資料点数ではなく、あくまでも点検資料点数153,751件(材質データ総数386,627件)の点検データを一定の地域別に材質項目を抽出したものである。その地域区分はオセアニア、南北アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、西アジア、南アジア、東南アジア、朝鮮半島、中国地域、中央・北アジア、日本(アイヌを含む)の11とし、明確にそれらに区分できない資料を地域不明とした。それぞれの地域によって、資料の材質に何か特徴がでるのか。

### 3.2.2 集計結果

集計結果(表3)をオセアニアから材質項目の多い順にみていくことにする。表3をもとに、材質の合計件数の多い順の第5位までをまとめたのが表4である。第1位は木(40)が11地域のうちヨーロッパと南アジアを除く9地域で占め、ヨーロッパでは鉄(11)、南アジアでは紙(65)がトップとなった。第2位はオセアニア、東南アジア、朝鮮半島の3地域で竹・籐・葦(38)が、西アジア、中国地域、中央・北アジア、日本の4地域で鉄(11)となった。上位5番目までにランクされている材質項目は、木(40)が11地域すべてに、鉄(11)がオセアニ

表4 地域別材質区分の順位表

地域区分	点検資料 点数	材質データ 点検件数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	153,751	386,627	木(40) 49,635	鉄(11) 31,224	塗(60) 27,731	縄網組物 (52) 27,127	竹・籐・葦(38) 22,543
オセアニア	13,965	34,759	木(40) 7,143	竹・籐・葦(38) 3,406	縄網組物 (52) 3,179	塗(60) 2,263	植物一般 (30) 2,198
南北アメリカ	25,671	64,779	木(40) 6,384	紙(65) 5,872	塗(60) 4,563	撚糸(51) 4,450	鉄(11) 4,195
ヨーロッパ	6,536	15,116	鉄(11) 2,321	木(40) 2,178	銅(12) 1,584	塗(60) 1,156	布(54) 718
アフリカ	12,090	31,610	木(40) 4,907	縄網組物 (52) 2,485	鉄(11) 2,353	銅(12) 2,202	鞣皮(72) 1,906
西アジア	2,333	5,437	木(40) 691	鉄(11) 565	銅(12) 498	撚糸(51) 357	縄網組物 (52) 321
南アジア	11,931	26,524	紙(65) 3,226	銅(12) 2,739	木(40) 2,734	鉄(11) 2,285	塗(60) 2,163
東南アジア	13,464	39,640	木(40) 4,989	竹・籐・葦(38) 4,534	塗(60) 3,354	縄網組物 (52) 2,842	鉄(11) 2,667
朝鮮半島	7,064	17,622	木(40) 2,344	竹・籐・葦(38) 1,670	縄網組物 (52) 1,372	鉄(11) 1,214	撚糸(51) 1,127
中国地域	2,095	7,166	木(40) 721	鉄(11) 623	竹・籐・葦(38) 616	塗(60) 585	撚糸(51) 567
中央・北 アジア	2,916	8,639	木(40) 1,301	鉄(11) 805	布(54) 774	撚糸(51) 770	縄網組物 (52) 612
日本	46,939	112,054	木(40) 13,161	鉄(11) 12,460	塗(60) 8,706	縄網組物 (52) 8,644	紙(65) 7,306
地域不明	8,747	23,261	木(40) 3,082	塗(60) 1,490	鉄(11) 1,454	竹・籐・葦(38) 1,353	縄網組物 (52) 1,324

アを除く10地域、塗(60)がアフリカ、西アジア、朝鮮半島、中央・北アジアを除く7地域、縄網組物その他の紐類(52)が南北アメリカ、ヨーロッパ、南アジア、中国地域を除く7地域である。また1地域だけ5位までに入った材質項目として、オセアニアで植物一般(30)、アフリカで鞣皮(72)などがあげられる。

### 3.3 材質別にみた異状の発生件数

#### 3.3.1 集計方法

点検資料点数153,751点をそれぞれの材質ごとに、亀裂<10>、破損<11>、欠損<12>などの点検異状(損傷)があった割合をもとめた。なお<>内の数字はそのコードである。標準資料1点を構成する素材の材質ごとに複数の異状があった場合、点検異状を1件と数えた。また点検異状を点検件数で割り、その割合を求めて異状率とした。

### 3.3.2 集計結果

集計結果は表5のとおりである。材質の合計件数は386,627件、点検異状は186,866件で単純にはその異状率は48.3%という結果となる。しかし、それぞれの材質の異状率をすべて合計して、それを材質項目数63で割ると37.8%という数字が算出される。つまり各材質の異状率はそれぞれの点検件数、異状のあった件数に左右されるので、こういう値になることにも注意しておく必要がある。

異状率の高い材質を列挙すると、5,827件の油・渋紙(66)の93.8%をトップに、以下、漆塗(61)1,915件の79.2%、ひょうたん(37)1,180件、77.8%、銅(12)9,909件、71.2%、木(40)35,154件の70.8%の順となっている。また件数としてみた場合、点検異状の多いものは、木(40)の35,154件、鉄(11)の20,929件、塗(60)の15,284件、竹・籐・葦(38)14,503件、銅(12)9,909件という結果となった。

## 3.4 材質別にみた異状の種類

### 3.4.1 集計方法

次に各材質別に、どのような異状が標本資料に生じているのか。たとえば亀裂<10>、破損<11>、欠損<12>、劣化<13>、虫害<31>など22の項目についての損傷状況の集計を試みた。

### 3.4.2 集計結果

各材質別に標本資料の損傷状況をまとめた表6である。縦軸に材質コード、横軸に損傷状況とした。表5の「材質別にみた異状の発生件数」の点検異状は186,866件だが、表6の「材質別にみた異状の種類」の合計の損傷状況件数346,949件となる。このふたつのあいだで件数に大きく開きがあるのは、3.3.の1)でふれたように、ひとつの資料の材質が複数の異状がある場合、前者では1件、後者は複数件とカウントされているからである。

材質別の損傷状況の総計を多い順から、木(40)の90,540件が圧倒的にトップにランクされ、全体の損傷状況件数346,949件の26.1%を占める。その異状は亀裂<10>14,610件、よごれ<42>14,101件、貼紙・テープ<41>10,466件の順であり、以下同様に第5位まで列挙してみる。

第2位は竹・籐・葦(38)31,862件で、よごれ<42>6,617件、ほこり<70>3,830件、亀裂<10>3,822件。第3位は鉄(11)29,357件で、腐食・腐敗<20>20,150件、よごれ<42>2,492件、欠損<12>1,149件。第4位は塗(60)25,656件で、剥離・接着不良<14>10,772件、よごれ<42>4,148件、ほこり<70>3,168件。そして銅(12)18,976件が第5位を占め、腐食・腐敗<20>7,454件、よごれ<42>4,147件、貼紙・テープ<41>2,192件の順となった。この上位5項目の材質で異状の総発生件数全体の56.6%を占めた。

つぎに損傷状況別、つまり各材質において高頻度で認められた異状の合計結果でみると、

表5 材質別にみた異状の発生件数

材質	点検件数	点検異状	異状率	材質	点検件数	点検異状	異状率
10: 金属	6346	2251	35.4%	52: 縄・網・組物・ その他の紐類	27127	6911	25.4%
11: 鉄	31224	20929	67.0%	53: レース	268	45	16.7%
12: 銅	13911	9909	71.2%	54: 布	12057	6345	52.6%
13: アルミ	1196	651	54.4%	55: 不織布	1040	403	38.7%
16: プレート	25	1	4.0%	56: 編物	518	75	14.4%
17: 金網・針金	7012	262	3.7%	57: 刺繍	1755	48	2.7%
18: ホーロー	193	134	69.4%	58: 衣ゴム	214	40	18.6%
19: 機械	160	1	0.6%	59: 服飾小物	1552	158	10.1%
20: 石	5512	2905	52.7%	60: 塗	27731	15284	55.1%
21: ガラス	5453	2724	49.9%	61: 漆塗	2417	1915	79.2%
22: 土器	9649	4913	50.9%	62: 粉状塗	5963	3838	64.3%
23: 施釉器	4769	2827	59.2%	63: 箔(金属箔)	515	159	30.8%
24: 粘土	1587	781	49.2%	65: 紙	19783	8719	44.0%
29: 宝石類	6650	920	13.8%	66: 油・渋紙	6210	5827	93.8%
30: 植物一般	10082	4654	46.1%	69: 張り子	1803	544	30.1%
31: 藁	5942	3006	50.5%	70: 動物一般	600	196	32.6%
32: 椰子葉	1002	688	68.6%	71: 毛皮	1260	777	61.6%
33: ゴザ	4404	512	11.6%	72: 鞣皮	7598	4408	58.0%
34: 草・葉原形	403	231	57.3%	73: 羽・毛	3880	1808	46.5%
35: 木の実	1513	583	38.5%	75: つめ・甲・つの	1924	1142	59.3%
36: ヤシ殻	546	361	66.1%	76: 骨・牙・歯	3080	1739	56.4%
37: ひょうたん	1516	1180	77.8%	77: 貝	3738	1916	51.2%
38: 竹・藤・葦	22543	14503	64.3%	78: 象がん・螺鈿	898	17	1.8%
39: 籠類	7030	852	12.1%	80: 人工樹脂	7503	1760	23.4%
40: 木	49635	35154	70.8%	81: 生樹脂・接着剤	6857	1470	21.4%
41: 樹皮	3201	1607	50.2%	83: ゴム	1147	456	39.7%
42: 樹皮テープ	2181	702	32.1%	84: 油脂・蠟	471	171	36.3%
46: 極薄木片	876	385	43.9%	89: 加工食品	180	87	48.3%
47: 箱類	1417	179	12.6%	91: 不明	4576	1315	28.7%
48: 合板	846	21	2.4%	93: その他	1055	292	27.6%
49: 樽・桶・曲物	1111	184	16.5%				
50: 繊維糸	5386	957	17.7%				
51: 撚糸	19586	4034	20.5%	合計	386627	186866	48.3%

表6 材質別にみた異状の種類

	TOTAL	10 亀裂	11 破損	12 欠損	13 劣化	14 剥離・ 接着不良	15 わん曲・ 変形	20 腐食・ 腐敗	30 カビ	31 虫害	32 虫害の 破・欠・劣	33 クモの 巣類	40 変色・ 退色	41 貼紙・ テープ	42 よごれ	43 使用痕	50 部分間 ゆるみ	51 糸切れ・ ゆるみ	60 硬化	61 油じみ	70 ほこり	71 くもり	80 その他
10 金属	3078	47	107	272	17	31	114	726	11	1	0	95	7	413	901	83	58	3	0	3	185	4	0
11 鉄	29357	221	438	1149	56	35	325	20150	57	8	3	1064	8	980	2492	456	763	17	2	44	1079	6	4
12 銅	18976	306	393	823	18	60	557	7454	29	6	3	567	8	2192	4147	404	277	15	1	19	1657	26	14
13 アルミ	1005	15	21	67	8	14	46	209	3	0	0	21	4	53	339	106	18	2	0	2	75	2	0
16 プレート	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 金網・針金	284	0	30	21	0	0	5	187	0	0	0	7	0	8	11	1	11	1	1	0	1	0	0
18 ホーロー	337	10	16	31	8	70	1	56	1	0	0	5	0	22	51	15	1	0	0	0	50	0	0
19 機械	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 石	4055	73	81	549	3	12	0	0	4	2	1	200	1	1505	1232	78	42	3	1	4	261	1	2
21 ガラス	3722	232	149	925	0	21	0	0	6	1	0	65	0	265	1468	26	7	28	0	1	347	179	2
22 土器	9854	961	554	1964	14	41	1	2	58	9	3	874	15	1705	1841	264	11	4	0	16	1513	0	4
23 施釉器	4963	400	248	1041	5	63	0	1	12	3	0	205	21	797	1276	75	4	0	0	4	802	4	2
24 粘土	1225	229	212	322	1	96	1	0	0	1	0	22	7	155	89	7	28	0	0	0	53	0	2
29 宝石類	1154	36	52	326	4	8	3	16	5	12	2	7	3	111	376	2	9	75	1	48	55	3	0
30 植物一般	8501	193	1692	998	198	41	125	9	274	475	107	769	152	431	1474	40	309	68	12	11	1103	1	19
31 藁	5428	2	1242	510	348	3	49	1	53	301	29	430	46	43	778	143	211	125	1	5	1102	0	6
32 椰子葉	1727	68	358	182	18	7	40	6	64	131	41	227	3	72	218	11	16	5	2	0	252	0	6
33 ゴザ	679	0	69	25	44	0	12	0	20	47	12	25	8	16	89	83	31	7	0	1	189	0	1
34 草・葉原形	347	4	72	48	37	0	59	1	5	21	2	19	1	6	19	6	5	0	3	0	39	0	0
35 木の実	896	109	72	182	2	18	2	0	24	60	20	79	1	41	163	3	7	36	0	0	77	0	0
36 ヤシ殻	715	80	21	76	0	8	0	0	9	31	1	98	1	126	136	4	10	1	0	2	106	0	5
37 ひょうたん	2480	296	78	152	11	6	1	0	95	224	45	258	11	328	641	44	12	1	0	15	239	1	22
38 竹・藤・葎	31862	3822	3476	2595	434	111	120	5	908	1894	372	3213	156	1960	6617	689	1366	146	3	39	3830	3	103
39 箆類	1250	3	115	50	15	0	40	1	33	36	8	120	5	63	185	17	36	4	0	1	517	1	0
40 木	90540	14610	3718	8833	2452	351	266	49	1547	7537	2247	9007	397	10466	14101	1975	2433	115	13	338	9265	5	815
41 樹皮	3213	255	581	363	67	67	94	1	74	138	29	260	29	287	484	26	73	12	4	5	349	1	14
42 樹皮テープ	1007	11	234	247	15	52	2	1	11	73	11	45	10	15	108	3	130	8	1	0	30	0	0
46 極薄木片	634	26	155	170	15	25	4	0	4	39	9	21	28	20	43	2	5	1	0	0	62	0	5
47 箱類	248	2	18	5	1	0	5	0	2	1	3	7	1	45	21	1	16	2	0	1	117	0	0
48 合板	24	2	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	9	3	1	1	0	0	0	2	0	0
49 樽・桶・曲物	317	4	13	15	2	0	4	0	18	19	3	41	0	20	36	4	68	1	0	1	68	0	0
50 繊維糸	1139	0	470	173	51	35	1	0	1	15	8	42	24	15	108	24	70	20	1	1	80	0	0
51 燃糸	5167	0	1642	692	345	44	0	3	6	49	30	143	337	68	934	54	267	198	4	7	342	1	1
52 縄・網・組物・ その他紐類	9440	1	2696	766	664	8	6	7	36	100	23	377	744	155	2009	100	523	228	41	50	903	0	3
53 レース	61	0	16	7	4	1	0	0	1	2	2	0	18	0	8	0	0	2	0	0	0	0	0
54 布	11668	3	2349	894	664	117	10	2	92	427	201	434	1828	615	2325	103	110	269	21	74	995	0	135
55 不織布	628	3	117	74	10	13	6	0	3	60	17	42	33	46	121	3	7	5	1	4	57	2	4
56 編物	102	0	29	7	1	0	0	0	0	2	0	5	9	2	26	0	2	3	1	1	14	0	0
57 刺繍	47	1	13	6	6	0	0	0	0	0	1	1	7	3	2	0	1	3	0	0	3	0	0
58 衣ゴム	54	0	3	2	13	0	2	0	0	0	0	0	3	1	10	0	0	0	5	0	15	0	0
59 服飾小物	188	2	11	41	0	4	2	53	0	1	0	2	2	5	55	0	0	8	1	0	1	0	0
60 塗	25656	1255	80	1052	31	10772	5	12	259	218	77	1401	338	2602	4148	72	8	1	0	13	3168	3	141
61 漆塗	3975	351	9	60	57	1453	3	1	32	32	13	425	39	360	550	9	3	0	0	1	564	7	6
62 粉状塗	5515	186	13	150	9	3165	0	2	59	46	34	181	130	337	533	0	2	0	0	2	606	2	58





表6 材質別にみた異状の種類(続き)

	TOTAL	10 亀裂	11 破損	12 欠損	13 劣化	14 剥離・ 接着不良	15 わん曲・ 変形	20 腐食・ 腐敗	30 カビ	31 虫害	32 虫害の 破・欠・劣	33 クモの 巣類	40 変色・ 退色	41 貼紙・ テープ	42 よごれ	43 使用痕	50 部分間 ゆるみ	51 糸切れ・ ゆるみ	60 硬化	61 油じみ	70 ほこり	71 くもり	80 その他
63 箔(金属箔)	181	1	2	12	0	140	1	8	0	0	0	1	2	1	5	0	1	0	0	0	5	2	0
65 紙	15301	48	3152	1406	1128	577	197	5	370	937	355	334	2061	2078	1568	60	83	14	8	169	446	0	305
66 油・渋紙	10598	7	2193	1322	30	126	0	0	92	113	39	75	49	5530	544	298	1	1	6	4	146	0	22
69 張り子	839	60	212	83	2	19	48	0	7	28	12	14	4	162	55	1	13	0	0	0	119	0	0
70 動物一般	342	21	48	48	8	3	7	0	4	31	12	33	3	15	61	0	4	1	6	1	35	0	1
71 毛皮	1850	17	109	116	421	15	43	0	23	114	58	210	37	30	215	15	10	12	291	11	90	0	13
72 鞣皮	9179	179	1056	698	286	69	296	4	244	382	100	631	169	436	1702	78	83	100	1958	72	601	0	35
73 羽・毛	2605	3	475	773	372	35	16	1	2	204	136	142	11	17	207	19	42	17	2	1	130	0	0
75 つめ・甲・つの	1762	140	56	221	9	8	0	0	4	207	106	115	2	474	248	8	29	6	0	0	128	0	1
76 骨・牙・歯	2579	251	117	396	47	10	3	1	11	66	16	162	19	385	861	26	49	5	3	0	150	0	1
77 貝	2940	124	76	725	7	37	0	1	2	119	19	122	9	392	1039	16	14	50	1	0	186	0	1
78 象がん・螺鈿	17	0	3	9	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
80 人工樹脂	2424	84	265	322	42	94	51	0	4	2	0	58	23	182	808	24	43	17	39	2	346	18	0
81 生樹脂・接着剤	1794	162	52	274	22	811	2	2	12	16	15	63	1	45	200	5	7	0	0	0	104	0	1
83 ゴム	755	48	80	54	69	6	10	0	3	1	0	20	2	17	197	17	5	0	122	1	102	0	1
84 油脂・蠟	233	36	17	54	1	4	2	1	5	1	0	0	6	18	63	6	0	0	0	0	19	0	0
89 加工食品	140	4	46	19	0	0	4	2	8	18	6	8	0	3	5	7	6	1	2	0	1	0	0
91 不明	1462	43	62	633	5	29	7	3	7	14	5	9	5	54	84	21	263	12	1	3	197	0	5
93 その他	428	47	28	116	2	21	0	1	1	2	0	36	7	33	85	8	1	0	0	1	38	0	1
TOTAL	346949	25094	29715	33149	8099	18760	2599	28984	4615	14277	4236	22837	6845	36236	58115	5543	7605	1653	2559	978	33017	272	1761



よごれ<42>58,115件, 貼紙・テープ<41>36,236件, 欠損<12>33,149件, ほこり<70>33,017件, 破損<11>29,715件の順となった。よごれ<42>では木(40), 竹・籐・葦(38), 塗(60), 銅(12), 鉄(11), 布(54)などの材質に多くみられる。ついで貼紙・テープ<41>では, 木(40), 油・渋紙(66), 塗(60), 銅(12), 紙(65)などとなっている。そのほかの項目については, 集計結果を加工せずに表6にまとめてあるので個々にみていただきたい。

全体の損傷状況件数の15.3%を占めるよごれ<42>は, 民博では資料を受け入れた際, 本来の姿を残すためにクリーニングはせず, 使用痕をそのままにしていることに起因しているケースが多いからとみられる。また貼紙・テープ<41>では, 運搬用や収集時点の収集者らによって貼付された番号札やラベルなどによるものである。

## 4 合成素材を中心にみた異状の種類

点検作業のマニュアル「資料点検について」にある材質コードのなかから, 合成素材に関するものをピックアップしてみると, 人工樹脂(80)とゴム(83)があげられる。そのマニュアルでは, 人工樹脂についての内容欄には, 「人工樹脂, プラスチック, ナイロン(漁網, ナイロン糸, ナイロンロープは除く), ビニールetc.」とし, 備考欄には「人工繊維, 合成ゴムは除く。」(情報管理施設資料室標本資料係 1984: 670)と記載されている。またゴムについては, 内容欄には, 「天然ゴム, 合成ゴムetc.」とし, 備考欄に「衣類ゴム以外のもの。」(情報管理施設資料室標本資料係 1984: 670)と記されている。

なお上記の説明で省かれた漁網, ナイロン糸, ナイロンロープはロープ(52)の項目で, 人工繊維は繊維糸(50), 合成ゴムはゴム(83), 衣類ゴムは衣ゴム(58)で, それぞれチェックされている。

### 4.1 人工樹脂の場合

#### 4.1.1 集計結果

上記3.2の地域別における材質集計のなかの人工樹脂(80)は, 各地域において何番目に多い材質なのか。表3で明らかのように, オセアニアでは28位, 以下, 南北アメリカ17位, ヨーロッパ14位, アフリカ11位, 西アジア11位, 南アジア14位, 東南アジア10位, 朝鮮半島20位, 中国地域11位, 中央・北アジア13位, 日本13位, 全体では不明とその他を除く材質の61項目中の14位となっている。したがって地域別のなかでの上位にランクされたのは東南アジアで, 下位ではオセアニアということになった。

人工樹脂(80)を材質別にみた異状の発生件数(表5)でみてみると, 7,503件でその23.4%にあたる1,760件に異状が発生している。また損傷状況(表6)では, 2,424件の上位は, よごれ<42>が808件で2,425件の33.3%を占め, 以下ほこり<70>346件(14.3%), 欠損<12>322

件(13.3%),破損<11>265件(10.9%),貼紙・テープ<41>182件(7.5%)の順。この上位5件は、損傷状況全体の5件と同じ項目がランクインしているが、全体では第4位のほこり<70>が人工樹脂では第2位で、同じく第2位の貼紙・テープ<41>が第5位となっている。

#### 4.1.2 類型

人工樹脂(80)の標本資料を、まずそれだけの材質の単体の場合と、ついで他の材質との組み合わせの複合体類型の割合を集計した(表7)。複合体では人工樹脂との組み合わせが1つの材質、2つの材質、3つ以上の材質に区分してコンピュータ処理した。そして、人工樹脂(80)―藁(31)が1件、人工樹脂(80)―鉄(11)―木(40)が1件というように、類型結果が1件の場合が類型の半数以上を占めたので、表では1件と2件以上に分けて掲載した。

表7 人工樹脂と他の材質との組み合わせ数

区 分	各類型結果が複数件 類型数 / 件数	各類型結果が1件 類型数 / 件数	合 計 類型数 / 件数
人工樹脂のみ	1 / 393		1 / 393
人工樹脂と他の材質1	26 / 1025	10 / 10	36 / 1035
人工樹脂と他の材質2	85 / 825	80 / 80	165 / 905
人工樹脂と他の材質3以上	515 / 2535	2635 / 2635	3150 / 5170
合 計	627 / 4778	2725 / 2725	3352 / 7503

その結果、資料の材質が人工樹脂は3,352類型・7,503件で、人工樹脂だけの単体資料は393件、人工樹脂(80)と他の材質コードとの組み合わせ資料は、3,351類型・7,110件であった。その内訳は人工樹脂と他の材質1つの組み合わせは36類型で1,035件、材質2つは165類型で905件、材質3つ以上は3,150類型で5,170件となっている。そのうち2,725類型がそれぞれ1件ずつであった。

組み合わせ類型の多い順から ①人工樹脂(80)単体がトップで393件、②人工樹脂(80)―塗(60)の組み合わせが365件、③人工樹脂(80)―紙(65)が217件、④人工樹脂(80)―撚糸(51)―塗(60)―鞣皮(72)―爪・甲・角(75)が186件、⑤人工樹脂(80)―宝石類(29)―縄・網・組物・その他の紐類(52)が114件の順となっている。

ついでそれぞれの組み合わせの資料内訳をみてみよう。まず人工樹脂(80)の単体資料393件の内訳は、秋田県の延網用針さし41点をはじめ、浮子38点、擬餌36点、おはじき29点、タイの護符28点、オランダ・イタリア・タイ・中国などの三猿26点、京都の数字遊び25点、ネパールのゲーム用駒20点などとなっている。②2番目の塗(60)との複合体では、三浦市で作られた擬餌159点と大阪の浮子109点で7割を占め、ついでタイの柱上祠用人形22点、日本の

コマ、人形、セルロイド玩具、マレーシアの椀や皿などとなっている。

さらに③紙(65)との複合体は、バレーの拓本が140点、マレーシアの供物用紙銭24点、トルコのポスター13点、メキシコの版画(カレンダー)12点など海外資料がほとんどを占め、日本の資料は写し絵など7点にすぎない。④では186点すべてがインドネシアの影絵人形で、3回にわけて受け入れられている。⑤ではメキシコの儀礼用指輪90点、ケニアの首飾り12点、腰飾り5点、タイの首飾りと台湾の蘭嶼の腕輪各3点で、1点だけ日本の首飾りがあった。

## 4.2 ゴムの場合

### 4.2.1 集計結果

上記3.2の地域別材質の集計(表3)においてゴム(83)は、61の材質項目のなかで、オセアニアでは46位、以下、南北アメリカ37位、ヨーロッパ35位、アフリカ39位、西アジア39位、南アジア44位、東南アジア27位、朝鮮半島48位、中国地域43位、中央・北アジア44位、日本35位、全体では43位の結果となった。

また材質別にみた異状の発生(表5)では、1,147件の点検件数に対して39.7%、456件が異状をしめしている。損傷状況(表6)では755件のうち、よごれ<42>197件が755件で26.1%を占め、以下、硬化<60>122件(16.2%)、ほこり<70>102件(13.5%)、破損<11>80件(10.6%)、劣化<13>69件(9.1%)の順となっている。ここでの特徴は、全体の異状では17位の硬化<60>が第2位である。なおゴムにおいて硬化の逆の軟化として、写真4のようにマリンバのばち先端部のゴムが溶けだしている劣化<13>の事例がいくつかみられた。

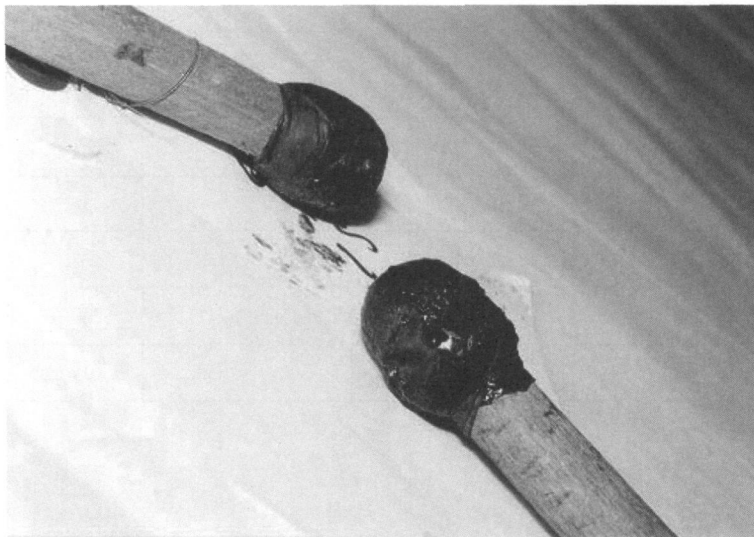


写真4 先端部のゴムが溶けだしたマリンバのばち

#### 4.2.2 類型

ゴム(83)についても人工樹脂と同様にその標本資料を、まずそれだけの材質の単体の場合と、ついで他の材質との組み合わせの複合体パターンを割合を表7と同様に集計した(表8)。

その結果、資料の材質がゴム(83)は617類型・1,147件で、ゴムだけの単体資料は21件、ゴムと他の材質コードとの組み合わせ資料は、616類型・1,126件であった。その内訳はゴムと他の材質1つの組み合わせは16類型で159件、材質2つは51類型で151件、材質3つ以上は549類型で816件となっている。そのうち502類型がそれぞれ1件ずつであった。

組み合わせ類型の多い順から①ゴム(83)—人工樹脂(80)の組み合わせがトップで83件、②ゴム(83)—竹・籐・葦(38)—捻糸(51)—繩・網・組物・その他の紐類(52)—塗(60)—鞣皮(72)—付属品(90)が32件、③ゴム(83)—木(40)—鞣皮(72)が27件、④ゴム(83)単体が21件、⑤ゴム(83)—木(40)が同じく21件となっている。

それぞれの内訳資料は、①の類型の場合、秋田県男鹿市の延縄用針さしが81点を占め、大阪のおはじきとインドネシアの調味料入れが各1点。7つの複合体からなる②は、その全部がマレーシアの影絵人形。③グアテマラの狩猟用具(パチンコ)22点、同じくインド、フィリピン、タイ、メキシコのパチンコとパプアニューギニアの太鼓各1点。④長崎県の浮子5点、グアテマラのサンダル5点、ゴムボール、軟球、地下足袋など。⑤ブラジルの版木12点、モロッコの化粧品入れ容器、グアテマラの杖が各2点のほか、仮面、腰掛け、匙など、となった。

表8 ゴムと他の材質との組み合わせ数

区 分	各類型結果が複数件 類型数 / 件数	各類型結果が1件 類型数 / 件数	合 計 類型数 / 件数
ゴムのみ	1 / 21		1 / 21
ゴムと他の材質1	10 / 153	6 / 6	16 / 159
ゴムと他の材質2	26 / 126	25 / 25	51 / 151
ゴムと他の材質3以上	78 / 345	471 / 471	549 / 816
合 計	115 / 645	502 / 502	617 / 1147

## 5 おわりに

ここでは、長年にわたって蓄積されてきた標本資料の点検情報を集計してきた。あらためてその集計結果を見直してみると、さまざまな問題点が浮き出てくるように思える。たとえば厳密に言えば、資料を受け入れた時点と、その後の経年変化による状況の変化によって生じた異状なのか、収集前からの異状なのか、不明瞭なケースが数多くみうけられる。今回用いた基礎データでは直近にチェックしたものをとりあげたが、同じ資料を何回かにわたって点検した場合、その情報を細かく分析していく必要がある。また資料保存の観点からみると、いままで毎年度実施されているこれらの資料点検結果を分析し、資料の整理や管理に十分に反映させ、役立てるところまでには至ってこなかった。

筆者は平成12(2000)年3月まで国立民族学博物館情報管理施設の情報企画課専門官として在職し、既述の業務にも関与していたので、その当時に十分なチェック・アンド・レビューを実施していたか、といわれると、はなはだ疑問である。今振り返ってみれば、日常のさまざまな業務に埋没し、資料の貸し出しなどを除く通常の点検は、単に継続させてきただけにすぎなかったきらいがある。毎年情報の積み重ねは重要であるが、その結果を分析・評価していくシステムを確立していく必要があるのではないか。そのためには保存科学の研究者、資料の整理・管理に従事するスタッフ、そして現場で実際に資料点検を行うスタッフが常に定期的に会合をもち、問題点の解決や情報交換の場を設定するなどのことも考えていく必要があるように思える。

多くの人々の手によって収集されてきた標本資料と、それらに関する蓄積されたデータ類は、いまや貴重な人類の共有財産である。今後ともそれらが先にふれたことを踏まえ、安全かつ良好な状態でながく後世に伝わるように願望している。

## 付 記

今回、きわめて膨大な点検データを集計するにあたり、資料点検の業務にあたっている財団法人元興寺文化財研究所、また集計処理をしていただいた株式会社日本アルトマークの阪口雅史、篠崎好彦の両氏にご協力いただいたことに感謝します。

## 文 献

情報管理施設資料室標本資料係

1984 「資料点検について」 国立民族学博物館編 『国立民族学博物館十年史資料集成』 pp.667-682, 大阪：国立民族学博物館。



Morita, T.

- 1988 Case Study: Materials and Disfiguration of Ethnographic Objects. *The Museum conservation of ethnographic objects* (Senri Ethnological Studies 23), pp.45-67, National Museum of Ethnology.

森田恒之

- 2000 「展示場の管理」国立民族学博物館編『国立民族学博物館十年史』大阪：国立民族学博物館, pp.355-361。

宇野文男

- 1984 「標本資料」国立民族学博物館編『国立民族学博物館十年史』大阪：国立民族学博物館, pp.376-409。
- 2000 『みんなくコレクション』大阪：財団法人千里文化財団。